

## 説教ドリル、5/31/09

**みことば:** 第1サムエル記 20 : 1-42

**テーマ:** わたしは神の神殿、No. 2

あなたがたは神の神殿であり、  
神の御霊があなたがたに宿っておられることを  
知らないのですか。(第一コリント三章一六節)



### みことばの観察:

- 1) まず、この章の前に何が起きていたのか、その文脈を知りましょう。もしまだ、ダビデとゴリアテの話をよく知らない人は、17章以降の箇所を先に読んで下さい。また、もし、サウル王がどのように油注がれて王になったのか、そしてその後、神様に拒否されてしまったことなどを知らない人は、10章までもどらないといけません。ダビデは、この時もうすでに王として油注ぎを受けていましたか、どうですか？
- 2) 4節でヨナタンが言った言葉に励まされて、ダビデはあることを彼に頼む勇気を得ました(5節以下)。彼がヨナタンにして欲しいと頼んだことは何でしたか。そのことばの中で、「**真実(ヘセド)**」という言葉に線を引いて下さい。
- 3) その頼みに対して、ヨナタンは何かを約束をします。彼がダビデに約束したことは何でしたか。また同時に、ヨナタンも彼自身の頼み事を申し出ました。それは何でしたか。そこに出て来る「**恵み(ヘセド)**」という言葉にまた線を引いて、ヨナタンがその言葉に秘めた意味について考えて下さい。その言葉の持つ大切な意味について説明できますか。

### 個人的適用

- 1) ヨナタンとダビデの関係は、契約という関係を示す一つの良い例です。その関係における大切な一面が4節に表現されています。これとよく似た表現のことばが、イエス様の最後のスピーチ(ヨハネ13章から17章まで)の中に出て来ますが、それはどこにありますか。挙げて見て下さい。
- 2) 契約という関係はすべて愛の上に成り立っていますが、それはどんな愛でしょうか。感情的なものです。そうでなかったら何ですか。また、それは一方通行的なものです。上の箇所「**真実、恵み(ヘセド)**」という言葉が使われていたことを頭において、それと同じ考え方をイエス様の最後のスピーチの中に見ることができますか。その考え方が出ていると思える箇所をあげて見て下さい。
- 3) 41節で、ヨナタンとダビデが別れを告げた様子に注目して下さい。彼らの頭の中にはどんなことが横切っていたと思いますか。もし、自分をこの二人の人物に当てはめるとしたら、あなたはヨナタンですか、ダビデですか。

### 祈り

- 1) あなたがイエス様や神様と、このような特別な関係を持つようになったことを感謝しましょう。そして、このような関係を持った者として自分自身を見て、どんな時も行動できるように祈りましょう。
- 2) あなたが、自分のグループ、また家族の中で持つ関係が、上で学んだ聖書のいう「**真実、恵み**」の上に立ったものであるように祈って下さい。
- 3) 「**すべての人**」、「**すべての聖徒たち**」のために：特に、心を騒がしている人たちのために。また、最近の新来会者の人達や、伝道している人達のために。また、行動すること(メールやカードを書いたりすること)も忘れないように。